



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

縄跳びタイム

11月30日(水)から12月12日(月)の期間週3日、中休みの時間を使って全校で縄跳びを行いました。短縄で一人一人が、いろいろな技に挑戦したり、大縄の練習をクラスごとに練習したりしました。いろいろな技に挑戦する中で、新たな記録が出ると、「できた」と嬉しそうな声をあげ、縄跳びカードに記録したり、記録を伸ばそうと同じ技に何度も真剣に挑戦したりする姿があちこちで見られました。大縄の練習では、何度も縄に足をとられてしまう友達を応援する姿や、「今、入るといいよ」と声かけする姿、何度か失敗したあとに跳ぶことに成功した友達に拍手を送って自分のことのように喜ぶ姿、上手く跳べた瞬間、達成感にあふれる嬉しそうな表情をうかべる姿等子供たちのすてきな姿が引き出されていてそばで見ていた私自身もたくさんの元気をもらうことができました。

先週の金曜日の給食の時間の放送で、体育委員より、制限時間の中で大縄を跳べた回数について、クラスごとの発表がありました。低・中・高学年と跳べた回数を見ていくと、跳べた最高の回数として、低学年では35回、中学年では90回、高学年では172回でした。また、縄跳びタイムの時間以外でも、縄跳びをやる人が増えてきてよかったということや、たくさん体を動かして、丈夫な体をつくってほしいということを全校に伝えてくれました。

「生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフの実現を目指す」と

いうことが体育の学習の基本方針として国から示されています。帝京大学教授の高田彬成氏は、「小学校の場合は、適切な運動の経験と健康・安全についての理解という二つのことを通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持・増進と、体力の向上の三つのことを図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てること」と研修会で明言されていました。

体育の授業とともに、日常の生活の中で体を動かすことと心の充実を一体して捉えていくことができる工夫をし、楽しく明るい毎日を積み上げていけるよう努めていきたいと考えます。来週からは冬休みになります。寒さも厳しい中ではありますが、御家庭の中で、コミュニケーションを図りながら、運動をする機会を設けていただけるとよいのではないかと思います。

園芸委員会

12月の委員会活動の中、園芸委員会で、プランターや花壇に、花の苗とチューリップの球根を植える作業を行いました。数が多かったこともあり、花壇の方は苗を植える場所だけを決め、次の日に植えることとし、委員会を終了しました。

次の日の朝、園芸委員会の子供が、中庭にある倉庫の中に入ろうとしていたので、声をかけると、「くまでを貸してほしい」とのこと。使う用途について尋ねると、花の苗を植える前に、花壇の落ち葉を掃いておきたいとの返答がありました。自主的に花壇の掃除をして、苗植えに備えておこうというすてきな思いが輝いた瞬間でした。